

史料に見る水の都大垣展はじまる



じょうかく げんろく
「大垣城郭図」(元禄5年から8年頃)

大垣市は、全国でも有数な自噴帯に位置しており、豊富な地下水の恵みにより発展し、水の都と呼ばれています。

江戸時代、城下町の人々は、河間を水源とする用水や城下にあった三清水を利用していました。天明2年(1782)頃、岐阜町の蒔莚屋文七が掘り抜き井戸を掘った後、多くの井戸が掘られるようになりました。



また、河川に囲まれた地形であることから、水門川の船町湊、杭瀬川の赤坂湊など、舟運が盛んであるなど水の恩恵を受ける一方、度重なる洪水被害に苦しみ、命を守るため、水と闘い続けてきました。

今回の展示では、水の都大垣をテーマとし、水と大垣に関連する史料を紹介いたします。

3階展示コーナーにて開催!!



2024年 夏号

発行元

大垣市立図書館

7・8・9月の講座情報

ふるさと古文書講座

7月19日(金) 午前
8月16日(金) 午前
9月20日(金) 午前

学ば大垣講座

7月15日(月・祝) 午後
8月12日(月・祝) 午後
9月16日(月・祝) 午後

大垣いま・むかし



大正時代の土橋付近
(船町)



現在の土橋付近
(船町)

大垣市図書館3階郷土資料室
古地図あります

※ポケット学芸員をご利用いただけます。詳細は右記QRコードをご確認ください。

ポケット学芸員



27日(金)

7月17日(水)・26日(金)
8月14日(水)・30日(金)
9月18日(水)・25日(水)

毎週火曜日、

【休館日】

大垣市立図書館3階
郷土資料室展示コーナー

【開催場所】

令和6年7月1日(月)
～10月24日(木)
午前9時～午後5時まで



パネル展示の様子(右)、
児童向け図書の展示の様子(左)



自由研究「子ども向け水の都大垣学習コーナー」開催中

パネル展示と児童向け図書の紹介、6月1日(土)から8月29日(木)まで

水の都大垣について学ぶことができる「子ども向け水の都大垣学習コーナー」が大垣市立図書館1階の児童閲覧室前で開催中です。

パネル展示では、湧き水のしくみや、大垣市にある湧き水の位置を記したマップなどを期間中、常時展示するほか、7月から水まんじゅう、8月から水都まつりについて、展示します。

また、水辺にすむ生きものや環境など水に関する事柄を調べるために役立つ、児童向けの図書の展示もあわせて開催しています。

夏休みの自由研究のヒントとなるよう、水まんじゅうやホテルなどについて調べる方法がわかる「調べ方案内」を配布しています。

ぜひ、お手に取ってご覧ください。

大垣よもやまコラム ものがたり大垣城

(8)大垣城の戦いゝその1ゝ

坂東 肇

関ヶ原で合戦が始まったころ、大垣城周辺でも東軍と西軍の戦いが始まりました。東軍は、曾根城から水野勝成と西尾光教、池尻から松平康長と津輕為信が大垣城へ兵を進めしました。勝成と光教は、楽田城へ入った後、伝馬町口まで兵を進め、やがて大垣城への攻撃を始めました。光教は、真つ先に東大手門へと迫りましたが、門はしっかり閉められていて、びくともしませんでした。そこで、同時に兵を進めていた康長は、「銃を撃ちまくって、入口を壊してしまえ。」と命令しました。それにより、門への一斉射撃が始まり、やがて門は破られて東軍が突入しました。

態だったのです。最初はこの四人が、敵が味方かわかりませんでした。やがて四人は敵であるとわかってしまい、掃部と兵左衛門は、慌てて門外へとび出しました。しかし、二人は中に取り残されてしまったのです。惣兵衛は、取り囲まれて、討たれてしまいました。久左衛門は、すばやく城兵に紛れ込みました。彼は、西軍の木村惣左衛門の家来に知人がいたので、その知人とともに城兵になりすましたのです。そして、入った門の反対側へまわり、何くわぬ顔で借りた鉄砲を使って東軍を攻撃しました。そして、日が暮れて深夜になった頃、こっそり堀を乗り越えて逃げたのです。

これは『関ヶ原物語』に書かれていたエピソードなのですが、大垣城周辺で集められた雑兵は、知り合いでも敵味方になることがあったのでしよう。彼らにとって、戦は手柄をたてて褒美を貰うこと

がねらいであって、どちらに味方しようが関係ないと思う人々が一定数いたのです。

(次号へ続く)



東口大手門跡 (郭町)

大垣「水」紀行(2)

江戸時代、城下町の人々は、安八郡西保北方村・加納村(神戸町)・領家村字信濃(大垣市領家町)の河間水(湧水)を水源とする用水や三清水を利用していました。三清水は、大垣城清水口門外、室清水町、清水町の蓮生寺(後の松濤寺)の門前にあった湧き水です。

天明2年(1782)、岐阜町の蒔蓐屋文七が掘り抜き井戸(鉄棒による堀削)によってできた井戸を作りました。その後、多くの井戸が掘られるようになりました。

レファレンス 事例簿

【問い合わせ】

大垣のたらい舟がいつから始まったのか知りたいです。

【回答】

大垣市の行事であるということ参考、岐阜新聞電子縮刷版データベースで、「たらい舟・大垣」をキーワードとして関連記事を検索したところ、平成15年(2003)2月20日の記事から、同年秋に試行、平成16年4月に運航予定であったことがわかりました。

図書館所蔵の資料では、『「たらい舟」資料』『郷土誌(2)』から『大垣市咲楽2014年4月号』に関連記事があることがわかりました。原本を確認すると運航が始まったのは、平成15年9月、現在のような観光としての運航が始まったのは、平成23年4月であることがわかりました。

また、「広報おおがき」で調べたところ、平成15年8月15日号(No.1500)に「たらい舟川下り」の行事予定が記されていました。

大垣を
深めよ!

Gaki
Quiz

第8号(春号)の解答

「戸田極子」



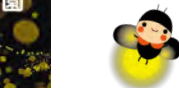
戸田極子は安政4年(1857)に岩倉貞視の娘として生まれ、明治4年(1871)に大垣藩戸田家11代藩主の戸田氏共と結婚しました。生まれながらに身に付いた品位や社交性、その顔立ちは「鹿鳴館の華」と称されました。また、英語やダンスを得意とし、山田流琴の名人でもあったため、ウィーンの滞在時には、作曲家のブラームスと交流がありました。

おすすめの1冊

『大垣市名勝 金生山』

岩巢公園 ― 自然と生物 ―

金生山自然文化苑保存会／発行



本書は、大垣市の名勝、「岩巢公園」に残る金生山の自然を知ることができる一冊です。

「くぐり岩」や「ゴトゴト岩」などの名称で親しまれる奇岩や、季節ごとに花を咲かせる植物、「ミカドギセル」をはじめとした陸貝、大垣市の天然記念物に指定されている「ヒメボタル」などについて、写真付きの解説が掲載されています。

